

NPO 京都コミュニティ放送  
第 137 回 番組審議会 議事録

開催日時：2020 年 1 月 28 日（火） 10：30～11：45

会 場：ラジオカフェ事務所

出席委員：ジェフ・バーグランド 中村正 福井秀彦 隅井美沙子

欠席委員：安長幸音 岡本卓也 岡田芳宏

局側委員：松岡千鶴 藤本香（順不同敬称略）

ゲスト：「京の田舎暮らしだより」 番組制作 吉岡さん 五明さん

■審議番組： 「京の田舎暮らしだより」 （毎月第 2・4 火曜日 12 時から放送の 6 分番組）

冒頭 番組制作者吉岡さんから番組の説明があった。京都市の地域おこし協力隊の北部山間かがやき隊員として活動している。田舎暮らしの新聞を配布しているが地域内の活動に留まる。隊員の任期 3 年の間に外部に発信して隊員の知名度を上げたい。

2019 年 12 月 10 日と 11 月 12 日の放送を聞いて審議に入った。

- ・ 11 月の放送は台本を書いている効果がある。12 月はメインの芋の話から分散している印象。フリートークは良いが 6 分番組の中で 1 個印象に残ることがあれば良い。柚子の木の高さや周りの景色が浮かぶ様なトークであればなお良い。毎回、かがやき隊の説明があると良い。
- ・ かがやき隊の事を知ってほしいという番組趣旨がトークに表れていない。地域おこしの魅力を発信するには、かがやき隊が芋堀を通して子ども達と何をしたかという話があると良い。
- ・ 水尾が柚発祥の地であることを、もう少し話してほしい。トークの中で地域を描いて、リスナーに風景が見えるようにすると良い。
- ・ 京都人なら水尾のことは知っている。豊かな情景を、知らない人にも伝える気持ちでトークすると良いのではないかな。
- ・ ラジオは前の番組とのつながりもあると、内容が膨らむ。
- ・ トークの中に人との繋がる様子が見えてこない。
- ・ SNS や PODCAST をもっと活用してはどうか。
- ・ ネタが無い事をネタにする。プロセスを見せるという方法もある。
- ・ うすうす感じてはいたが、課題が見つかった。（吉岡）
- ・ ネタに行き詰まりを感じていたので大変参考になった。（五明）

以上で審議を終了した。

この審議会の議事録は 2020 年 2 月 29 日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は 2020 年 2 月 29 日からホームページで公開した。